

## 第 3 学年 B 組 英語科学習指導案

場所 3 年 B 組教室  
 日時 平成 18 年 10 月 25 日  
 校時 第 5 校時 (13:35-14:25)  
 指導者 松本 光正 H18.11.12  
松本

1. 単元名 Unit 5 Cell Phones – For or Against? (New Horizon English Course book 3)

2. 単元について

### (1) 生徒観

3 年 B 組は全体的に明るく元気で素直な生徒が多い。授業に際しても活発で反応も良い。学力的には若干低い面が懸念されるが、英語に対する興味関心は比較的ある方である。学力不振者、及び授業中落ち着けない生徒が数名いる。英語に限らず授業道具を出すところからの指導になるが、粘り強く指導していきたい。また、発話行為やコミュニケーション活動になると消極的になる生徒が数名いる。「授業中において、実際に英語を使用しながら学ぶことの重要性」を認識させるための努力を工夫していく所存である。

### (2) 題材観

本課では「携帯電話の是非論」についての Discussion を中心に取り扱う。身近な「地域や学校の問題」を扱いながら、「事実を伝える」「意見を述べる」という言語活動が可能である。3 年生では、Discussion/Debate を扱うが、ここでは、中学 3 年生段階で可能なレベルの Debate をさせていきたい。2 年生の段階で、議論について、「賛成か反対かを述べ、その理由を言う」ことができるようになってきている。今回は更に、「相手の英語を聞き取り、理解して、それに対して自分の考えを述べる」ということを中心に指導していきたい。相手の発話に対して「切り返す」発話ができることが評価のポイントとなるだろう。

生徒が身近にテーマ・話題を感じ、興味関心が高まるように、事前に携帯電話についての“Good points”や“Bad points”を提示し話題性を高めておきたい。

Discussion/Debate が真剣にかつ整然と行われるような工夫をしていかなければならない。

### (3) 指導観

本課では上述した題材観が生きるように、英語で Discussion/Debate することを主眼において指導していきたい。言語材料は、I think～. because～. を中心的に指導し、その他 Discussion や Debate に必要な語彙も教えていきたい。I agree with～. I disagree with～. It's my turn. But～. And～. I think so. I don't think so. You said," ",but～.等 相手の意見を聞いて、良い点は自分の意見に取り込んでいき、それに対して自分の意見を言う等の Discussion/Debate の仕方まで指導していきたい。

本格的な Debate は難しいため、あくまで生徒にチャレンジさせるという意味合いで指導していく。

本校英語科の基礎基本的として、語彙指導並びに音読指導に力を入れることとし、できる限り毎回の授業で単語テスト・リーディングテストをするように心がけている。

### 3. 指導計画 と 評価計画 (本時は第 5 時)

時	達成目標	観点別評価・中心技能	評価規準・基準
1	・現在分詞、過去分詞の修飾的語法の理解と運用、現在分詞、過去分詞を用いた英文を書いて表現できるようにする。	・理解の能力・表現の能力・言語文化の知識理解、<Writing/Listening>	・ワークの基礎問題が時間内にできる、時間内にできた場合 A、教科書本文の内容が理解できる Q&A に答えられる、挙手して答えられる場合 A
2	・関節疑問文理解と運用、間接疑問文を用いた英文を書いて表現できるようにする。	・理解の能力・表現の能力・言語文化の知識理解、<Writing>	
3	・教科書本文の読解	・理解の能力<Reading>	・ I think～because～の英作文が時間内に作れる、2 文以上作れた場合 A
4	・教科書題材について、I think～ because～. 等の英文に慣れさせ、英作文する。	・表現の能力<Writing/Speaking>	Discussion 用の英語フレーズが半分以上覚えられる
5	・教科書題材について幅広く、話題を広げながら Discussion する。更に、Debate にチャレンジする。 ・即興的に I think～because～等の Discussion や Debate に役立つ表現集を使って自分の意見が言える。また、即興的に相手の意見に「切り返す」。	・表現の能力<Writing/Speaking>	・テーマに対して、自分の意見を積極的に言える、英作文を即興的に発表できた場合 A ・相手の発話に対して、できるだけ 2 回以上の「切り返し」ができた場合 A (・ Vocabulary テストで 8 割以上 A ・ Reading チェックカードで「Yes」に○が多く、TorF テストで全問正解の場合 A)

4. 本時の指導目標

- ① Discussion/Debate Phrases 使って、議論するという Situation で自分の意見を発表できること
- ② コミュニケーションへの興味関心意欲が持てること

5. 本時の学習

	項目	学習活動・学習内容	指導・評価の留意点	補助教材
10分	復習及び Warming-Up	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(既習単語テスト)</li> <li>・♪We are the world♪</li> <li>・Diary 発表 Q&amp;A</li> <li>・既習単語、熟語、基本文等の発音練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(・単語テストで8割以上=A)</li> <li>・英単語をしっかりと発音する</li> <li>&lt;W/S&gt;言語文化の知識・理解、観察、分析</li> </ul>	年間単語リスト  FC
10分	導入 Discussion のモデルの提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明を聞き、Discussion のやり方を理解する、また JTL と ALT の Discussion モデルで、Discussion に必要なフレーズを確認する。</li> <li>JTL、ALT の立場と意見・考えをクリップボードにまとめて、全体に知らせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に Discussion に傾注し自分の意見をまとめる</li> <li>&lt;L&gt;関心意欲態度、理解、表現の能力、観察法</li> </ul>	ワークシート1  Picture1
25分	展開1 I think.. because.. を使ってテーマに則した意見をワークシートに書く  展開2 発表活動及びコミュニケーション活動  展開3 Debate にチャレンジする即興的に英語で反論、切り返しをする	1. 自分の立場をはっきりさせ、意見を英作文する。 I agree with..... I think.....because.....①  And I think.....②. .....③ ・決められた時間の中で、上記の英作文①ができれば、随時教師に持ってきて添削してもらう。時間内で①ができた生徒は②、③に取り組ませる。  2. 相手の意見を聞き、それに対して反論する。 (Interview game 形式) 予め決められた、賛成派、反対派の相手を見つけながら、下記の対話をできる限りたくさんの友達と行う。また、切り返しが途切れた段階で、相手との勝負をつける。  A: Are you for or against it? B: I'm for it. I agree with..... I think....because..... A: I agree with..... You said," ". But I think..... B: I see your points, but I think..... A: You said, " ", but I think..... *相手の意見に反論する言い方を中心に、自分の意見を主張していく  3. 賛成派、反対派の生徒をそれぞれの勝率によって、Top3 を選出する。全体の前で "Ping-Pong Debate 3vs3" をする。JTL、ALT それぞれが賛成派、反対派について、アドバイスする。 Audience は Judge として、最終的に勝負をつける。ただし、「切り返し」が途切れた場合など、Audience に "What do you think?" と聞き、参加を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I think..because...が理解されているか確認すること、また英作文が正しく作成されるか留意する。③までできた場合=A, ①ができたに留まる場合=B</li> <li>・できるだけたくさん自分のオリジナルの意見、考えを平易な英語で書かせる。</li> <li>・積極的に発表、会話する、発表ができた場合=A</li> <li>・できるだけたくさん自分の意見や考えを英語で言おうとする、時間内で5人以上との会話=A</li> </ul> JTL や ALT の Discussion に参加しようとする、また、JTL や ALT の質問に即興的に答えようとする。積極的に答える場合=A  <W>表現の能力、関心意欲態度、分析 <S>関心意欲態度、理解、表現の能力、観察法 <L>関心意欲態度、理解、観察法	ワークシート2           ワークシート3   Picture2
2分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容を自己評価する</li> <li>・次時、家庭学習(宿題)の指示</li> </ul>	コミュニケーションへの関心意欲態度	(自己評価カード)

備考：男子13名、女子20名。計33名。